

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【公開番号】特開 2001-263542 (P2001-263542A)

【公開日】平成 13 年 9 月 26 日 (2001.9.26)

【出願番号】特願 2000-72408 (P2000-72408)

【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 L 9/22

B 2 9 C 63/26

F 1 6 L 1/00

F 1 6 L 58/02

【F I】

F 1 6 L 9/22

B 2 9 C 63/26

F 1 6 L 1/00 L

F 1 6 L 58/02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】管路修復用ブロック体

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

管路の内径よりも小さな外径を有する管状体の一部を構成する円弧曲面状のブロック体であって、その周囲の外面にフランジを立設し、各フランジに複数の孔を穿設して成ることを特徴とする管路修復用ブロック体。

【請求項 2】

その周縁にブロック体接触縁を形成したことを特徴とする請求項 1 記載の管路修復用ブロック体。

【請求項 3】

ブロック体本体をプラスチックで構成したことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の管路修復用ブロック体。

【請求項 4】

ブロック体本体を繊維強化プラスチックで構成したことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の管路修復用ブロック体。

【請求項 5】

前記ブロック体本体に浮力体を組み込んだことを特徴とする請求項 3 又は 4 記載の管路修復用ブロック体。

【請求項 6】

ブロック体本体を気泡体又は中空ビーズを含む樹脂材で構成したことを特徴とする請求

項 1 ~ 4 又は 5 記載の管路修復用ブロック体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、管路修復用ブロック体に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は上記問題に鑑みてなされたもので、その目的とする処は、大口径の管路に対しても供用水を流しながら所望の修復作業を行うことができる管路修復用ブロック体を提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

【発明の効果】

以上の説明で明らかなように、本発明によれば、管路の内径よりも小さな外径を有する管状体の一部を構成する円弧曲面状のブロック体であって、その周囲の外面にフランジを立設し、各フランジに複数の孔を穿設したので、前記管路修復用ブロック体に形成された前記各孔に挿通するボルトにて該ブロック体をこれに隣接する他のブロック体に連結する作業を繰り返すことによって管路内に該管路よりも小径の連続した管状体を形成でき、大口径の管路に対しても供用水を流しながら所望の修復作業を行うことができるという効果が得られる。